



障害者の日常知って

西成で
写真展

障害のある人の日常
を見つめた写真展が、
大阪市西成区岸里東1
のギャラリー「見る倉
」を運営するNPO法
庫「06・6656・12
80」で開かれている。
モデルは、同ギャラリ

重い障害がある人たちの写真と、撮影した
ベアラム・シラーさん—大阪市西成区で

人「W・I・N・G—路を

からだ。

は「ごぶ」のデイセンタ
ーに通う心身に重い障
害がある人たち。11日
までの午前11時〜午後
5時。500円。
撮影したのはドイツ
出身の美術家、ベアト
ラム・シラーさん
(34)。同国の芸大で彫
刻を学んで06年に来
日、同法人で働く傍ら
写真の創作に取り組ん
でいる。昨年から今年
にかけて、利用者の生活
介助をしながら約2万
回シャッターを切っ
た。「利用者が感じて
いる喜怒哀楽を広く知
ってほしい」と思った

笑い顔、しかめた表
情のほか、足のアップ
だけの作品も。シラー
さんは「彼や彼女たち
の性格を写すことがで
きた。ゆっくり楽しんで
ほしい」と話してい
る。

【鶴谷真】